



# 無名景 (むめいけい)

コンセプト：自然の一部を切り取る「借景」は、日本建築の奥ゆかしさを象徴する手法です。しかしその行為の結果として現れる風景は、時に言葉を越えた美しさを持ちながらも、名前を持ちません。

今回の借景の景色には、幼い頃に目にした八甲田の紅葉が心に残っており、その情景をイメージしています。

風景と空間が一体となり、訪れる人々がその「名前のない美」を自ら感じ、名づけることができるような、豊かな「和の表現」を創出することが本コンセプトの目指すところです。

